

カナダバンクーバー都市圏における TOD 及びバリューキャプチャーの事例

～ その1 ～

宮本 大輔／土屋 知省 ワシントン国際問題研究所研究員/前ワシントン国際問題研究所長

1. はじめに

前稿ではバリューキャプチャーファイナンスの体系について紹介した。一方で、バリューキャプチャーの目的はインフラ施設開発の整備財源を確保するための一つのツールであり、本来、公共交通志向型都市開発（TOD）全体の中で議論すべきものである。それ自体のみにフォーカスすることは実務的ではない。

マクロレベルでは公共交通指向型都市開発（Transit Oriented Development : TOD）の結果として、コンパクトで土地利用が豊富にある住みやすい都市が開発され、ミクロレベルでは、財務の持続可能性は、TOD から収益を生み出し、投資のコストを回収し、TOD 地区のさらなる改善に資金を提供するためのツールとしてバリューキャプチャーという概念がある¹⁾。TOD という概念は、Peter Calthorpe が 1980 年代後半に体系化し、1993 年に彼が The New American Metropolis を発表して以来、現代都市計画のいわば“定石”となった。TOD は一般的に“人々が公共交通機関の近くに住み、自動車への依存度を減らすことを奨励する複合化されたコミュニティ”と定義されている²⁾。我が国においては、TOD という概念が生まれる以前から、例えば東急電鉄による東急田園都市開発や阪急電鉄による阪急沿線開発等により実施されてきており、国際協力機構(JICA) 調査団(アルメック VPI、東京地下鉄) により体系的にまとめられている³⁾。

そこで本稿からは、北米における TOD の事例とバリューキャプチャー手法と合わせて紹介する。

2. TransLink (トランスリンク)

バンクーバーにおける TOD を語る上で、トランスリンクの存在は欠かせない。

“トランスリンクは Public Private Partnership (PPP : 官民パートナーシップ) 事業による TOD を促進させるという取り組みにおいて、リーダー的存在だ” とトランスリンク CEO である Kevin Desmond 氏は述べている⁴⁾。トランスリンクの管轄する SkyLine (スカイトレイン) の 1 つの路線である Canada Line (カナダライン) は PPP により建設された。

バンクーバーにおける PPP への取り組みは古く、1998 年の州法の改正により加速させ⁵⁾、さらに 2005 年にカナダラインに関する法的な枠組みを体系化し、コンセッション契約に関するメカニズムを確立させた。そして 2007 年に South Coast British Columbia 州 (ブリティッシュコロンビア州) はこれまでの交通当局であった Greater Vancouver Transportation Authority を South Coast British Columbia Transportation Authority へと変更し、公共の鉄道や

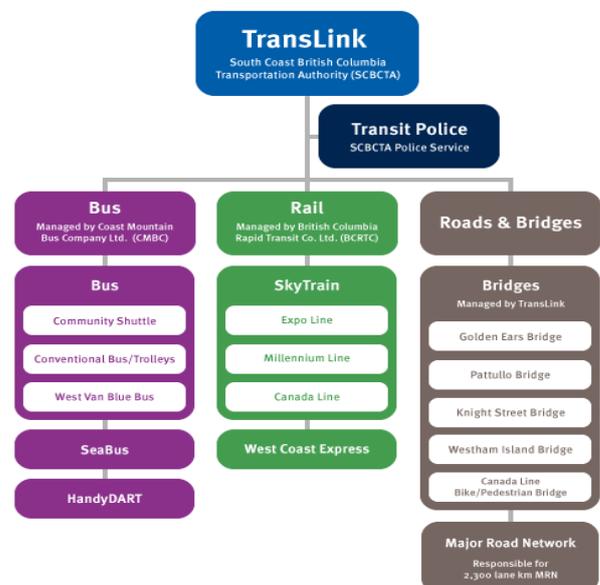


図1 トランスリンクの組織図
(トランスリンク HP より)

バス、主要な道路や橋を含むバンクーバー首都圏の地域交通ネットワークの計画、資金調達および開発に対してより大きな責任を付与した。これによりこんにちトランスリンクと呼ばれる組織が誕生した⁹⁾。

2.1 トランスリンク

トランスリンクは、州法によって設立されたカナダのブリティッシュ・コロンビア州南西部に位置するメトロ・バンクーバー^{注2)}の公共交通機関を運営する特殊法人 (statutory authority) である。道路や橋梁を含む公共交通サービスの計画・資金調達及び管理に対して責任を有しているという点で通常の公共交通機関とは異なり、また、後述するように固定資産税、開発コスト賦課金の課税権を有している点でも異なり、地方自治体の側面を持っている⁹⁾。正式名称は South Coast British Columbia Transportation Authority であるが、メトロ・バンクーバーの公共交通機関を総称して「トランスリンク」と呼ぶことが多い。そのサービスエリアは1,800km²にも及ぶ⁷⁾。実際の運営は関連子会社等との運行契約により実施されている。具体的には、バスやトロリー、フェリーを運行 (ノ運航) している Coast Mountain Bus Company (CMBC)、都市鉄道 (SkyTrain) や都市間鉄道 (West Coast Express : WCE) を運行している British Columbia Rapid Transit Company Ltd. (BCRTC)である⁸⁾。

2.1.1 CMBC

CMBCはトランスリンク最大の運行管理会社である。メトロバンクーバーの96%以上のバスを運行している。218もの運行ルートを持ち、一日あたりの平均輸送人員は2017年時点で851千人である¹⁰⁾。バス運賃は一律\$2.95 (大人料金) である。その他4%については、独立系運行会社である West Vancouver Blue bus、Community Shuttle Services、HandyDARTに運行委託をしている。なお HandyDART は、身体障がい者や認知障害のある乗客に対し Door-to-Door のライドシェアサービスを提供している。CMBCはバラード入り江を渡りバンクーバーと北バンクーバーを結ぶフェリーも運航している。

2.1.2 BCRTC

2.1.2.1 スカイトレイン

スカイトレインはメトロ・バンクーバーにある都市鉄道3路線 (Expo Line (エキスポライン)、Millennium Line (ミレニアムライン)、カナダライン) の総称である。自動案内軌条式旅客輸送システム (AGT)により運行されている。

ーエキスポライン

駅数：24

営業キロ：36.4km

ーミレニアムライン

駅数：17

営業キロ：25.5km

ーカナダライン

駅数：16

営業キロ：19.2.5km

運賃はゾーン制で、1ゾーン\$2.95、2ゾーン\$4.20、3ゾーン\$5.70 (すべて大人平日料金) で、その他時間割、学割、乗換え割、1か月パス、一日乗車券等がある。

一日あたりの平均輸送人員は2017年時点で513千人¹⁰⁾である。なお、メトロ・バンクーバーの人口は2016年現在2,463千人、人口密度は854.6人/km²である¹¹⁾。

エキスポライン及びミレニアムラインはBCRTCにより管理運営されているが、PPPにより建設されたカナダラインはトランスリンクとの契約により InTransit BC が運行しており、BCRTCは契約管理を実施している (後述)。



図2 SkyTrain 及び一部バスの路線図 (Translink HP より)



図3 運賃ゾーン (Translink HP より)

2.1.2.2 WCE

WCE は BCRTC により運営されている、メトロ・バンクーバーのハブ駅である Waterfront と Mission City を結ぶ全長 69km の通勤列車である¹²⁾。駅間には 6 つの駅がある。平日一日あたりの輸送人員は 11 千人である。



図 4 WCE 路線図 (Translink HP より)

注

注1) 内容としては、(1) PPP に関する民間企業への公的資金の提供 (2) PPP に必要な財産の取得及び接收する権限を地方自治体に付与 (3) 民間企業が用いている契約手続きの使用の認容

注2) Metro Vancouver (正式名称は Metro Vancouver Regional District (MVRD) で、バンクーバー市を含む 23 の行政区域からなる地方行政区のひとつ。カナダ第 3 位の都市圏である。

【引用・参考文献・出典資料】

- 1) Hiroaki Suzuki, Robert Cervero, and Kanako Iuchi, “TRANSFORMING CITIES WITH TRANSIT (Transit and Land – Use Integration for Sustainable Urban Development)”, Urban Development series, the world bank.
- 2) Ian Carlton [2007], “Histories of Transit-Oriented Development: Perspectives on the Development of the TOD Concept Real Estate and Transit, Urban and Social Movements, Concept Protagonist”, Institute of Urban and Regional Development University of California, Berkeley.

- 3) 独立行政法人国際協力機構(JICA) [2017], “鉄道整備と都市・地域開発を連携させる開発のあり方に関する調査”
- 4) BCBUSINESS HP, “Why TransLink is a Leader in Transit - Oriented Development”,
<https://www.bcbusiness.ca/why-translink-is-a-leader-in-transit-oriented-development> (Access: 2019/4/15)
- 5) Minnesota Department of Transportation [2009], “Innovative Finance in Action Canada Line - Rail Transit Facility”
- 6) South Coast British Columbia Transportation Authority Act [SBC 1998] CHAPTER 30, July 30, 1998
http://www.bclaws.ca/EPLibraries/bclaws_new/document/ID/freeside/00_98030_01
- 7) Translink [2015], “2015 Annual Report Our shared journey”,
https://www.translink.ca/-/media/Documents/about_translink/corporate_overview/corporate_reports/annual_reports/2015_TransLink_Annual_Report.pdf (Access: 2019/4/15)
- 8) Translink HP, “Corporate Overview”,
<https://www.translink.ca/About-Us/Corporate-Overview.aspx> (Access: 2019/4/15)
- 9) Translink HP, “Overview”,
<https://www.translink.ca/About-Us/Corporate-Overview/Operating-Companies/Overview.aspx> (Access: 2019/4/15)
- 10) APTA HP, “TRANSIT RIDERSHIP REPORT Third Quarter 2018”,
<https://www.apta.com/resources/statistics/Documents/Ridership/2018-Q3-Ridership-APTA.pdf> (Access: 2019/4/15)
- 11) Statistics Canada HP, “Population and Dwelling Count Highlight Tables, 2016 Census”,
<https://www12.statcan.gc.ca/census-recensement/2016/dp-pd/hltfst/pd-pl/Table.cfm?Lang=Eng&T=701&SR=1&S=3&O=D&RPP=9999&PR=59> (Access: 2019/4/15)
- 12) Translink HP, “Happy 15th birthday, West Coast Express!”